

**高砂市若者支援計画  
(令和元年度・2年度)  
施策評価シート**

**【 4段階評価 】**

- S: 予定以上に進捗している
- A: 予定通り進捗している
- B: 遅れている
- C: 事業を廃止

**こども未来部未来戦略推進室若者・青少年支援担当**

令和元年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している  
 A: 予定通り進捗している  
 B: 遅れている  
 C: 事業を廃止

【基本目標1】すべての若者の健やかな育成

施策の方向：相談支援体制の充実

※青の箇所にご記入ください

該当欄にS～Cのアルファベットを記入してください。

施策番号	主な施策	施策の内容	令和元年度の取り組み・方向性	令和元年度実績	回数・人数	元年度評価			令和2年度の取り組み予定・方向性	担当課	
						S	A	B			C
1-1-1	若者相談支援窓口の設置	若者相談専用ダイヤル（わかものサポートライン）を設置し、一元的に相談を受けて、面談や専門的な機関を紹介・案内するなど、適切な支援に繋げる相談体制を推進します。	若者相談専用電話（高砂市わかものサポートライン）により、若者に関する相談に対応する。	困りごとがあるが、適当な窓口がわからない相談者を内容に応じた窓口案内した。	相談件数 2件		A			若者相談専用電話（高砂市わかものサポートライン）により、若者に関する相談に対応する。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）
1-1-2	若者相談支援情報の発信	若者や市民の方々に、相談者への支援情報を分かりやすく周知する取り組みとして、市内の学校や施設へパンフレットを配布し、また、広報や市ホームページ等で情報発信を行います。	ポスターを作製し、若者相談支援情報を市民に広く周知する。	若者相談窓口案内ポスターを200部作成し、主に市内の学校及び公共施設並びに大規模小売店に掲出し、相談窓口の周知を図った。	—		A			市の広報媒体（市ホームページ、たかさごナビ、インスタグラム等）をとおして、情報発信を行う。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）

施策の方向：就労支援体制の充実

1-2-1	就労支援の連携	障がいも含め、様々な問題を抱え思うように仕事に就けない、就職後に仕事に定着できないといった若者が見受けられます。こうした若者に対して、ハローワーク加古川、就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実に努めます。	ハローワーク加古川、就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実に努めます。	関係機関との連携の構築に努めた。	—		A			ハローワーク加古川、就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」、ひょうご・しごと情報広場、若者しごと倶楽部（ジョブカフェひょうご）等の様々な関係機関と連携し、個々の状況に応じた継続的な支援の充実に努めます。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）
			就労支援サイト「おしごとステーションたかさご」において、市内就業情報などを提供する。ハローワーク加古川と連携し、「地元企業合同就職面接会」を開催し、「就活を成功させたい若年者のための相談会」を同時開催する。	あかし若者サポートステーション/サテライト播磨[加古川]地域若者サポートステーションと連携している。「地元企業合同就職面接&相談会」を開催した。	地元企業合同就職説明会 1回 参加者30名		A			令和2年度「地元企業合同就職面接&相談会」を実施する。	産業振興課
1-2-2	地域若者サポートステーション（あかし若者サポートステーション/サテライト播磨[加古川]）との連携	地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者未就労者を対象に、社会参加・就労へと導くため、キャリアカウンセリングを中心とした就労プログラム（セミナー、職場体験等）により、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援を行います。	平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接会」を開催し、就職を希望する女性を支援する。	平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接&相談会」を開催した。	1回開催 参加企業27社 参加者30名		A			平成29年度に兵庫労働局と締結した「高砂市雇用対策協定」に基づき、「地元企業合同就職面接&相談会」を開催し、就職を希望する女性を支援する。	未来戦略推進室 （男女共同参画センター）
			あかし若者サポートステーション/サテライト播磨[加古川]地域若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者からの相談に対応し、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的に支援に努める。	あかし若者サポートステーション/サテライト播磨[加古川]地域若者サポートステーションとの連携の構築に努めた。	相談件数 0件		B			あかし若者サポートステーションと連携し、働くことについて様々な悩みを抱えている若者からの相談に対応し、個々の置かれた状況に応じて、個別的、継続的な支援に努める。	未来戦略推進室 （若者・青少年支援担当）
1-2-3	播磨圏域連携中枢都市圏の連携	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携して、若年求職者や女性等の就労につながる各種就労支援に取り組みます。（ジョブトライアル事業、合同就職説明会等の共同開催、若年層等への就労支援、職業訓練講座）	あかし若者サポートステーション及びひめじ若者サポートステーションと連携し、個別相談やセミナー等を実施する。	あかし若者サポートステーション及びひめじ若者サポートステーションと連携し、個別相談やセミナー等を実施している。	相談20回6人 セミナー10回53人		A			あかし若者サポートステーションと連携し、個別相談やセミナー等を実施する。	産業振興課
			播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行っている。	—		A			播磨圏域連携中枢都市圏の関係市町と連携し、情報の周知・普及を行う。	産業振興課

令和元年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している  
 A: 予定通り進捗している  
 B: 遅れている  
 C: 事業を廃止

【基本目標2】 困難を有する若者やその家族の支援

施策の方向： 支援のための連携

施策番号	主な施策	施策の内容	令和元年度の取り組み・方向性	令和元年度実績	回数・人数	元年度評価				令和2年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
2-1-1	若者支援地域ネットワークの構築	様々な分野の機関と連動する「高砂市若者支援地域ネットワーク」を構築し、社会生活を円滑に営む上で困難を有する若者やその家族への総合的な支援の充実に努めます。	要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成連絡協議会、青少年補導委員協議会、青少年センター運営協議会、民生委員児童委員協議会、子ども会育成会連絡協議会、連合PTA協議会等の関係機関との連携強化に努める。	関係機関との連携の構築に努めた。	—		A			要保護児童対策地域協議会、青少年健全育成連絡協議会、青少年補導委員協議会、青少年センター運営協議会、民生委員児童委員協議会、子ども会育成会連絡協議会、連合PTA協議会等の関係機関との連携強化に努める。	未来戦略推進室 (若者・青少年支援担当) 【各関係機関】 ・市関係部局 ・国の機関 ・県の機関 ・各種協議会
2-1-2	ひきこもりの支援	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族との面談、訪問支援を行うとともに、回復過程にあるひきこもり当事者に対する社会参加訓練等を支援します。また、当事者のグループ活動等を支援し、復学や就労等の社会参加を促します。	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努める。	兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等との連携の構築に努めた。	相談件数 0件			B		兵庫ひきこもり相談支援センター播磨ランチ等と連携し、ひきこもり当事者や家族への支援に努める。	未来戦略推進室 (若者・青少年支援担当)

【基本目標3】 若者の成長のための社会環境の整備

施策の方向： 若者の育成や地域活動の推進

施策番号	主な施策	施策の内容	令和元年度の取り組み・方向性	令和元年度実績	回数・人数	元年度評価				令和2年度の取り組み予定・方向性	担当課
						S	A	B	C		
3-1-1	若者の地域活動グループの設立や活動の支援（未来戦略推進活動支援補助金）	若者が主体となり地域活動を行うグループづくりと活動を支援し、若者が地域社会と関わり社会性や豊かな人間性を育むことに繋がります。	現状では若者からの申請が少ないため、若者が自らが企画し活動できるような事業の広報に努め、若者活躍を推進する	補助金を交付した団体（グループ設立支援型3事業、戦略活動支援型13事業）のうち、半数程度の団体において若者世代の参画があった。 また、活動発表会を行うことで、世代間交流の機会を設けることができた。（参加者25名）	左記のとおり		A			補助対象とする各団体の積極的な活動を促すことにより、引き続き若者世代の参画を広く広報する。	未来戦略推進室 (未来戦略事業推進担当)
3-1-2	成人式の企画・運営	新成人に成人式の企画・運営に関わってもらうことにより、大人への第一歩を踏み出す機会をつくります。	新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議してもらい、内容の検討及び当日の運営に参画してもらう。	新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議した。	新成人成人式運営委員 6人 運営委員会 3回		A			新成人による成人式運営委員会を組織し、成人式について検討協議してもらい、内容の検討及び当日の運営に参画してもらう。	未来戦略推進室 (若者・青少年支援担当)
3-1-3	大学等連携協定による学生の地域活動への参加	市と大学等が連携し、学生が地域活動に参加することで活力ある個性豊かな地域社会の創生・発展と学生の社会への参画意識を育みます。	連携大学等3校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援する。	連携大学等3校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援した。	連携事業件数 42件		A			連携大学等4校と連携事業について協議し、実施担当課の取組を支援する。	経営企画室

令和元年度 若者支援計画に係る施策評価シート

S: 予定以上に進捗している

A: 予定通り進捗している

B: 遅れている

C: 事業を廃止

3-1-4	若者の市政への参画の促進	若者が主体的にまちづくり（市政）に参画できる取り組みを進めます。	「夢のシロ」令和2年度事業の募集については、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で周知を行い、今年度（6事業）以上の応募件数を目指す。 アダプトプログラム及び市民ボランティアについては、引き続き制度のPRに努め、参加団体や登録者の増加を図る。	「夢のシロ」令和元年度事業として4事業に補助金を交付し、若者（松陽高校の生徒）にもまちづくりに参画してもらうことができた。また、令和2年度事業は、8事業の応募をいただき、内3事業を補助対象事業に選定した。 アダプトプログラムは、新たに1団体と合意書を交わし、活動団体は計9団体となった。 市民ボランティアは、登録者に随時ボランティア情報（たかさご万灯祭、高砂マラソン等）を発信した。（参加者：122人）	左記参照		A	幅広い世代に「夢のシロ」補助金を活用してもらおう。令和3年度事業の募集は、さまざまな形（ポスター掲示、市HP、フェイスブック等）で周知を行い、今年度（8事業）以上の応募件数を目指す。 アダプトプログラム及び市民ボランティアは、引き続き制度のPRに努め、参加団体や登録者の増加を図る。	市民活動推進課
			市役所の業務において大学生及び高校生をインターンシップで受け入れる	大学11校、高校2校から学生を受け入れインターンシップを実施した。	大学生17名 高校生4名		A	市役所の業務において大学生及び高校生をインターンシップで受け入れる	人事課
			令和元年度に執行される選挙において公募により期日前投票所の投票立会人を選任する。 その際、30歳以下の選挙人を中心に選任し、若い世代の投票意識の向上を図る。 令和元年7月執行予定の参議院議員通常選挙において市内4校の高校生を対象として街頭啓発従事体験及び投票事務従事体験を実施する。	令和元年7月21日執行の参議院議員通常選挙において、 ①公募により主に30歳以下を対象として選任された選挙人が期日前投票所の投票立会業務に従事した。 ②7月16日に商業施設において高校生が街頭啓発を体験した。 ③7月21日に投票所13箇所において高校生が投票事務従事を体験した。	①13名 ②3校15名 ③4校24名		A	期日前投票立会人を随時公募し、投票立会人を選任する際には、30歳以下の選挙人を中心に選任することで若い世代の投票意識の向上を図る。	選挙管理委員会
3-1-5	若者の結婚新生活への支援	新婚世帯が高砂市で暮らしやすくなるため、家賃などを補助し、新生活を支援します。	新築奨励金は令和元年度で終了するので、これに替わる新たな若者世帯向け移住・定住施策を、今年度中に調査・研究し来年度の予算化に向け事務を進める。	29件の新婚世帯に対し、家賃補助を行った。	-		B	補助申請件数が減少傾向にあることから、さらなる広報に努めるとともに、現状を分析しよりよい支援のあり方を検討する。	未来戦略推進室 （未来戦略事業推進担当）
3-1-6	青年の家の運営	社会教育団体等と協力してイベントを実施し、地域住民と青少年と交流を図るとともに、多目的球場など周辺施設もあわせて、より活用できるように検討します。	自主イベントを継続的に実施するとともに、向島らしさを活かしたイベントを計画する。	自主イベントを増やし、既存のイベントなども充実させた。	151回		A	自主イベントを継続的に実施するとともに、広報の方法などをさらに工夫し、参加者が増えるように努力する。	生涯学習課